

注意

 使用禁止

● 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください）

感電および故障の原因になります

 取付注意

● レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと

落下によりけがをすることがあります

 取付禁止

● 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと

火災・故障の原因になります

 取付注意

● 部品の取り付けは確実におこなうこと

落下によりけがをすることがあります

 接触禁止

● 運転中は、指や物を絶対に入れないこと

けがをするおそれがあります

 取付注意

● 作業は2人以上で必ず手厚の手袋をすること

取付の切り口角度がけがをするおそれがあります

 取扱をする

● 取り扱いは、必ず手厚の手袋をすること

取付の切り口角度がけがをするおそれがあります

 取付注意

● 作業は2人以上でおこなうこと

レンジフードは約36kgの重さがあります

注意

- 周囲温度が 40℃以上になるところには取り付けられません
火災・故障の原因になります
- 取り扱いは、必ず厚手の手袋をする
図板の角の口や刃で怪我をするおそれがあります
- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなってください
落下により怪我をするおそれがあります

1 取付面の強度確認
製品を支える壁面が必ずです。

製品質量	36kg
------	------

■板張りの場合（取付面が必ず不燃処理をおこなってください）

- 板厚が 20mm 未満の場合は壁に補強板を埋め込み、補強板にレンジフードを取り付けてください。
- 板厚が 20mm 以上の場合は補強板の必要はありません。

■コンクリート、タイル壁の場合

- あらかじめ補強板を壁に埋め込んでおく、カールブラ

■土壁の場合

- 柱などに固定した補強板をあらかじめ壁に埋め込んでください。

2 別売部品の準備
排気工事に応じた別売部品の準備が事前に対応してください

3 標準取付寸法
本製品の標準取付寸法は、調理機器の上面からレンジフードの下端まで 80cm 以上です。
※火災予防条例で、グリッドフィルターの下端が調理機器の真上 80cm 以上必要となっています。

4 電源コンセント・ブレーカー
電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください。（交流・単相 100V）
コンセントは、JIS C 8303 2 極差込接続器 15A 125V をご使用ください。

お買い
必ずダース工事（D 種接地工事）をしてください。レンジフードが誤作動することがあります。

-

座付ねじ (φ 5.1 × 15) 10 本
本体と、本体取付けおよびダクトカバー吊り金具の取り付けに使います。
-

化ねねじ (M4 × 8) 2 本
ダクトカバー内側スライド部の固定に使います。
-

トラスねじ (M4 × 10) 2 本
ダクトカバーの取り付けに使います。
-

給気口 (電動シャッター付) 1 個
本体と給気ダクトの接続に使います。
-

排気口 (電動シャッター付) 1 個
本体と排気ダクトの接続に使います。
-

ソフトテブ 2 本
給気口および排気口とダクトとのすきまをふさぐのに使います。
-

ワイヤークランプ 1 個
配線の結束に使います。
-

本体取付け棒 1 個
本体の取り付けに使います。
-

ダクトカバー 1 個
ダクト取付部をカバーします。
-

ダクトカバー吊り金具 2 個
ダクトカバーの取り付けに使います。
-

中継コード (排気用 2P・給気用 3P) 各 1 本
本体と電動シャッター (給気口・排気口) の接続に使います。

※ 後方排気・排気の場合（別売の L 形ダクトを使用する場合）

※ 後方排気の場合は別売の L 形ダクトが必要です。

- 1) 給気口および排気口に付属品のソフトテープを貼り付けます。
- 2) L 形ダクトに付属の取付けねじ 4 本でモーターカーバーが L 側になるように取り付け付けます。（図 3 - 5）
- ※ 本体への取り付けは、本体の取り付け後におこないます。（「5. ダクトと結気・排気用部品の接続」参照）

図 3 - 5

4. 本体の取り付け

⚠ 注意

- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります
- 部品の取り付けは確実におこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります
- 作業は 2 人以上でおこなうこと
レンジフードは約 36kg の重さがあります

お願い

- ・レンジフードの前後および左右方向の水平を確実にだしてください。水平に設置されていないと、本体内部の汚れ（油）が各部のすきまから調理室に滴下することがあります。
- ・キッチンパネルの上端部をレンジフード下部壁面に入れ込みで設置する場合、レンジフードと壁面のすきまに挟み込まず、すきま（挟み込む部材は不燃性のものを使用すること）。

- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります
- 部品の取り付けは確実におこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります
- 作業は2人以上でおこなうこと
レンジフードは約36kgの重さがあります

取付注意

取付注意

取付注意

● お願い

- レンジフードの前後および左右方向の水平を確実にしてください。水平に設置されていないと、本体内部の汚れ(油)が各部のすきまから調理面に滴下することがあります。
- キッチンパネルの上端部をレンジフード下部壁面に入れ込んで設置する場合、レンジフードと壁面のすきまに挟み込み

すきま
(挟み込み部材は不燃性のものを使用すること。)

● 注意

- 周囲温度が 40℃以上になるところには取り付けられません
- 取付けの際は、必ず厚手の手袋をする

- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなってください

● 土壁の場合

- 柱などに固定した補強板をあらかじめ壁に埋め込んでください。

1 取付面の強度確認

製品を支える壁が必ず必要です。

製品質量	36kg
------	------

● 板厚が 20mm 未満の場合には壁に補強板を埋め込み、補強板にレンジフードを取り付けてください。

● 板厚が 20mm 以上の場合には補強板の必要はありません。

2 別売部品の準備

排気工事に応じた別売部品の準備が事前に行ってください。

3 標準取付寸法

本製品の標準取付寸法は、調理機器の上面からレンジフードの下端まで 80cm 以上です。

※火災予防条例では、グリッドフィルターの下端が調理機器の真上 80cm 以上必要となっています。

4 電源コンセント・ブレーカー

電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください。(交流・単相 100V)

コンセントは、JIS C 8303 2 極差込接続器 15A 125V をご使用ください。

お買い

必ずダース工事 (D 種接地工事) をしてください。レンジフードが誤作動することがあります。

● 取付け

● あらかじめ補強板を壁に埋め込んでおく、カールブラ

-

座付ねじ (φ 5.1 × 15) 10 本
本体と、本体取付けおよびダクトカバー吊り金具の取り付けに使います。
-

化ねねじ (M4 × 8) 2 本
ダクトカバー内側スライド部の固定に使います。
-

トラスねじ (M4 × 10) 2 本
ダクトカバーの取り付けに使います。
-

給気口 (電動シャッター付) 1 個
本体と給気ダクトの接続に使います。
-

排気口 (電動シャッター付) 1 個
本体と排気ダクトの接続に使います。
-

ソフトテブ 2 本
給気口および排気口とダクトとのすきまをふさぐのに使います。
-

ワイヤークランプ 1 個
配線の結束に使います。
-

本体取付け棒 1 個
本体の取り付けに使います。
-

ダクトカバー 1 個
ダクト取付部をカバーします。
-

ダクトカバー吊り金具 2 個
ダクトカバーの取り付けに使います。
-

中継コード (排気用 2P・給気用 3P) 各 1 本
本体と電動シャッター (給気口・排気口) の接続に使います。

● 後方排気・排気の場合 (別売の L 形ダクトを使用する場合)

- 1 給気口・排気口を取り付けます。**
(図 5-3)

本体の給気口・排気口取付位置についているなべねじを 2 本をはずした後、L 形ダクトの本体上部の差込部を差し込みながら、給気口・排気口をダクトに挿入し、はずしたなべねじ 2 本で取り付けます。

※排気口取付位置近傍のねじは取りはずさないでください。
- 2 風漏れ防止のテーピング (アルミテープ) をおこないます。**(図 5-3)
- 3 給気口・排気口に中継コードを接続します。**(図 5-4)

 - 給気口の接続部 (3P コネクター) に付属品の中継コード (3P コネクター) を、排気口の接続部 (2P コネクター) に付属品の中継コード (2P コネクター) をそれぞれ接続したあと、レンジフード本体の運動線に接続します。

※中継コードの接続は正しくおこなってください。

お願ひ

- コネクターを挿入する際は、ツメの向きを合わせて確実にロックしてください。接続が不十分な場合、レンジフードが動作しない、発熱による故障などの原因になります。
- 給気口・排気口の取付位置が間違っている場合、配線が通らないことがあります。給気口・排気口を取り付け直してください。

1 取付け位置を確認します。(図7-1)

製品寸法図を参照し、ダクトカバー吊り金具の取付け位置を確認します。

図7-1

(単位: mm)

850 (最大高さ)
650 (最小高さ)

2 ダクトカバー吊り金具を取り付けます。(図7-2)

ダクトカバーの吊り金具を図のように付属品の座付ねじ(φ5.1×45)4本で取り付けます。

※レンジフードのセンターに合わせて注意しながら取り付けてください。

図7-2

(単位: mm)

ダクトカバー吊り金具
座付ねじ(φ5.1×45)
本体

470

3 ダクトカバーを取り付けます。(図7-3)

ダクトカバーを壁際まで持っていく、本体の引掛けねじにダクトカバーの切り欠きを入れるようにスライドさせながら、ダクトカバー正面下側の飛び出し部をフードの溝に入れ、奥にスライドさせながら、はめ込みます。

図7-3

ダクトカバー

引掛けねじ
切り欠き

溝

おしまい

ダクトカバーを取り付ける際、ダクトカバー下側の飛び出し部でフードの天板を傷つけないように十分注意してください。

取り付けかたは裏面に続きます。

